



2017～2018 年度会長方針 「明るく、楽しく、そして活気あるクラブに！」

ロータリー：
変化をもたらす

WEEKLY REPORT

創 立/1986年2月19日 (会長)月井 雅夫 (副会長)榎田 隆治 (幹事)滝澤 宏
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP http://www.toshimah-rc.jp E-mail info@toshimah-rc.jp

第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

第 1477 回例会

2017 年 8 月 30 日

本日のプログラム

例 会 12:30～13:30
クラブフォーラム①
「ホームミーティング報告会」

次回(9月6日)のプログラム

理 事 会 11:15～12:00
例 会 12:30～13:30
卓 話:「日本人のおもしろい苗字について」
卓 話 者:東京上野RC 尾中 哲夫氏
(紹介者) 幹事 滝澤 宏会員

今月のソングリーダー 澤田 博司会員

前回第1476回例会報告 2017年8月23日

会 長 報 告

1. バギオ基金より、当クラブの寄付金累計額(クラブ・個人合計)が、23,687,220円になったということで、第118回感謝状をいただきましたことをご報告いたします。
2. 前回例会で、募金のかたちでお願いいたしました「九州北部豪雨災害支援金」の合計が3万6,500円となり、指定口座に振り込みをさせていただきました。皆様ご協力ありがとうございました。

幹 事 報 告

1. 『ハイライトよねやま』209号が届きましたので、ご参照ください。
2. 米山記念奨学会より、来年(2018年)2月4日開催の、財団設立50周年記念式典とフォーラム開催のご案内が届きました。当日のプログラムをホワイトボードの下に置いておりますのでご参照いただきまして、ご出席の方は9月20日(水)までに事務局の方へお願いします。
3. 第6回日台ロータリー親善会議のご案内が届きました。会議の開催日は2018年3月1日(木)となっております。第2580地区の日本発着オフィシャルツアーも5コースあるようで、ツアーのご案内をホワイトボードの下に置いてありますのでご参照ください。ご参加のお申し込みは11月17日(金)までに事務局の方へお願いします。
なお、いずれのご案内も皆様のメールボックスにお入れしてあります。また、開催は来年の2月、3月ですが、お申込み締切は9月、11月と早めになっておりますので、特にご参加希望の方はお早めをお願いいたします。
4. 未定でした各委員会の委員が決まりました。各委員の皆様、宜しく願います。
社会奉仕委員: 榎田会員、佐藤(美)会員、細田会員
職業奉仕委員: 佐藤(久)会員、大野会員
国際奉仕委員: 有我会員

プログラム・広報委員: 松井会員、成枝会員
日台親善会議副委員長: 有我会員
なお、活動計画書の委員会構成ページ(7P)の新版のシールを皆様にお配りいたしますので、各自で貼り付けていただけますようお願いいたします。
5. 次回例会は「第1回クラブフォーラム」でホームミーティングの報告会となります。各グループリーダーの方はご準備をお願いいたします。
6. 今年度は近隣4クラブも例会数が減ったりメーキャップ受付のない休会日もありますので、メーキャップに行かれる際は必ず「お知らせ」をご確認ください。

委 員 会 報 告

有我社会奉仕委員長
池袋RCとの共同プロジェクト状況報告および地区補助金申請について
稲川会員
クラブご案内の新パンフレット完成について

ニコニコ BOX



山元会員/8月11日、孫娘の山元梨楠のアメリカ交換留学には、成田空港まで渡邊さんはじめ大勢の方々にお見送り頂きまして、誠にありがとうございました。

本日の
15分間スピーチ

佐野会員
「山本泰人様とのお縁について」



日本橋と海苔

東京 R C
株式会社山本海苔店 取締役副社長 山本 泰人氏



なぜ「日本橋と海苔」かということを一言で申し上げますと、日本橋に魚河岸があったからなのです。当時の魚河岸は、一日一千両のお金が落ちたと言われていました。

1603年に江戸幕府ができてからの200年程は、家康が西の文化を江戸に持ってきて

賑わうようになった。そして徐々に賑わいが増すに従って、江戸は商売になると考える人達が関東周辺から集まってくるようになり、文化文政の頃には140万人位の人口があったということです。西の文化を基礎に繁栄していった江戸が、また新たな独自の文化を生みさらに繁栄していったのです。

私どもの初代は生まれが神奈川県の綱島ですが、この繁栄を見て魚河岸で商売をしようと考えたに違いなく、嘉永2年（1849年）に初めて日本橋の地に構えたわけです。その後は戦争や、産業革命によって新しい技術がどんどん生活を変え大きな変化を受けながらも、私どもはその間ずっと一つの「海苔」というものを通して世の中を見て、海苔を中心とした商品を提供してきたわけです。

海苔の歴史には、3つの大きな転換点がありました。少し遡って1700年頃の隅田川では、河口で海苔が自然に発生していたのです。それが冬になると大量に発生する。なぜ冬に大量に発生するのかは当時は誰もわからなかったのですが、人々はそれを採って食べていた。そのうちにその海苔を紙のように漉いて食するようになった。誰が思いついて誰がやり始めたかはわ

かっていないのですが、この、海苔を紙のように漉くというのが日本人の一大発明でした。日本人の凄さ、とりわけ江戸の人の画期的なオリジナリティだったと確信しています。その平たくなった海苔は、繁栄を誇った魚河岸の中にもどんどん入って行って、ごはんに巻かれてみたりいろいろな食し方で江戸の町に広がっていったわけで、これが1つ目の転換点です。そして現在では年間70億枚程を皆さん食べているんですね。

次の2つ目は私どものことでもありますが、1869年（明治2年）に山本海苔店が味付け海苔を創製するんですね。現在流通している海苔の約50%は味付け海苔です。この味付け海苔を作ったきっかけは、私どもの2代目が山岡鉄舟と剣道を通じて交流があり、その山岡鉄舟は明治天皇の当時侍従でした。そこで明治天皇が京都にお帰りになられます際に何か江戸のお土産をとって、道場で一緒に稽古をしていた2代目に何かないかということで、その時初めて、明治天皇が京都にお持ち帰りになられるお土産の品として味付け海苔が生まれたわけです。

そして3つ目は1949年（明治24年）に、イギリスの女性海洋学者ドリューが発芽糸状体が貝殻の内に侵入しコンコーセリスを形成することを発表し、これによって海苔の年間の生態が解明され、そのことが養殖ということに繋がっていくわけです。

一方日本橋の橋そのもののことでは、江戸幕府とともに創架され、あの橋も400年以上経っているんですね。現在の橋は1911年に建造された20代目で、それまではずっと木造でしたが、今のものはルネッサンス式石造石拱橋となっています。

現在、日本橋に青空をもう一度取り戻そうということで、高速道路を地下化する計画が検討されています。高速道路ができたの昭和38年ですから、それまでの350年程は日本橋の上は青空だったわけです。私どもは高速道路を撤去することであの青空をもう一度取り戻したい、さらには清流を取り戻したいと考えています。現在の進んだ建築工法では高層の建物が日本橋に林立してもおかしくないわけで、もちろん近代性・先進性も大切ですが、私どもの社会的な使命というのは、日本橋が背負っている文化的な面や、そこで生まれ400年以上連続と受け継がれてきた東京の根源となるルーツ、それを正しく伝承しながら、2020年のオリンピック・パラリンピックを迎えたいという思いです。世界中からいろいろな人たちが訪れる東京の中核として、正しい文化を発信しながら発展を育んでいくな街にならないといけないだろうと、一海苔商ではありますが、そのようなことにも目を向けながら市井のさまざまな活動にも参加しているというのが現状です。

9月6日[1478]

理事会 11:15~12:00

例会 12:30~13:30

卓話:「日本人のおもしろい苗字について」

卓話者:東京上野RC 尾中 哲夫氏
(紹介者)幹事 滝澤 宏会員

9月の
例会
スケジュール

9月13日[1479]

例会 12:30~13:30

クラブ協議会②

ガバナー公式訪問 事前準備・打合せ

9月20日[1480]

ガバナー公式訪問

会長・幹事との打合せ 10:30~11:15

クラブ協議会 11:15~12:15

例会 12:30~13:30

特別卓話:国際ロータリー第2580地区

吉田雅俊ガバナー

9月27日

【特別休会】

■ゲスト

東京RC

(株)山本海苔店 取締役副社長

山本 泰人様

■ビジター

東京上野RC

中澤 信夫様

高知南RC

武政 茂子様

■出席報告

会 員	出席算入 会員数	出席数	欠席数	出席率	6月30日分 修正出席率
33名	30名	28名	2名	93.33%	92.60%